

## 中国電力株式会社向け「トランジション・リンク・ローン」の シンジケーション方式での契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、中国電力株式会社（代表取締役社長執行役員：中川 賢剛、以下「中国電力」）との間で、シンジケーション方式による「トランジション・リンク・ローン」（以下「本ローン」）のアレンジャーに就任し、本日、契約を締結しました。

本ローンは、脱炭素社会実現に向け、脱炭素化・低炭素化を推進する企業の移行の取り組みを金融機関として支援することを目的としたローンです。金融機関は、借入人のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定して金利条件等と連動させることで、借入人にトランジション戦略の実現に対するインセンティブを与え、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

中国電力は、本ローンについて、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）から、金融庁・経済産業省・環境省の定める「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」、国際資本市場協会（ICMA）の定める「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」並びにLMA等の定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2023年7月改定版）」および環境省の定める「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年7月改定版）」に準拠している旨の評価（※）を取得しています。

中国電力は、2020年1月にグループ経営ビジョン「エネルギーチェンジ2030」を掲げ、2021年2月に「『2050年カーボンニュートラル』への挑戦」を公表しています。2022年3月には「『2050年カーボンニュートラル』への挑戦」に向けた「中国電力グループ環境行動計画」を見直し、2030年度までに2013年度比で小売電気事業におけるCO2排出量を半減させることをはじめとした4つの目標を新たに設定しています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーや原子力をはじめとする脱炭素電源への設備投資等を継続的に行う必要があるため、中長期的に安定して資金を確保するための財務基盤の維持・強化を図る方針です。

みずほ銀行は、中国電力の 2050 年カーボンニュートラルの実現に向け段階的に脱炭素化へ移行していくための取り組みをファイナンス面から支援するために、本ローンを本日、契約を締結しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

#### 〈本ローンの概要〉

借入人	:	中国電力株式会社
組成金額	:	1,200 億円
契約締結日	:	2023 年 12 月 26 日
実行日	:	2023 年 12 月 28 日
S P T	:	2030 年度の小売電気事業における CO2 排出量を 2013 年度比半減
アレンジャー	:	株式会社みずほ銀行
ジョイントアレンジャー	:	株式会社日本政策投資銀行
コ・アレンジャー	:	株式会社三井住友銀行 株式会社三菱 UFJ 銀行 三井住友信託銀行株式会社
参加金融機関	:	株式会社 SBI 新生銀行 株式会社りそな銀行 第一生命保険株式会社 住友生命保険相互会社 大樹生命保険株式会社

※ JCR による評価レポートをご参照ください。  
(<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

以 上